

学部長あいさつ

「夏休みから秋学期へ！」

SGS News Letter 第14号をお届けします。

多摩大学グローバルスタディーズ学部の夏休みも終わりに近づき、秋学期が始まろうとしています。ご子息、ご令嬢には、春学期に対する自己評価をしていただきたいと思います。春学期に掲げた目標はすべて達成できたか、出来なかったのなら何が足りなかったか。さらにコミュニケーション力は向上したか、気の合う友達や良き先輩に巡り会えたか、学生会やサークル活動を満喫できたか、効率よく時間を使ったか、バイトはどうだったかなどです。

特に、バイトに時間を費やし、思うように学習時間が確保できず、「予習復習をしていれば成績はもっと良かったのに」と振り返る学生も多いことでしょう。

秋学期からは様々な教訓を生かし、前進するしかありません。これから勝負です。春学期の課題、授業で学んだ内容を復習することが肝要です。AEPであれば秋学期に履修する科目の準備を進めると良いでしょう。また、AEP以外の科目についても、新たな気持ちで取り組むことです。日々の努力の積み重ねによって理解度が大きく違ってきます。まさに「継続は力なり」です。

寺島学長がインターゼミのゼミ生に常に伝えていることがあります。とても興味深い内容なので、紹介します。「人間関係の図を描いてみること」を実践して欲しいとおっしゃいます。初めに単純な人的ネットワークを書き、その図に工夫を加え、周囲の人が自分のためにどう動いてくれるか、自分のためにどう考えてくれるかを自問自答してみること。他者が自分のために動いてくれないければ、意味はありません。しかし、自分が他者に対して貢献していなければ、当然相手も動いてくれません。頼み事がある時だけ人に会う（とかくそうした人は多い）のでは、助けてはもらえません。自分だけが得する人的ネットワークなど存在しません。そこに、「志」があるかが重要になってきます。また、自分に貢献してくれる人々に支えられていることを認識することも大切です。自己理解と他者理解を進めることで、「人間関係の図」を再考しながら描き続けてもらいたいと思います。

次に、アセットマップ、すなわち「長所を図にすること」です。自分の将来に役立つことがどの程度あるか、またここ数カ月でどの程度増えたかを書きとどめることです。例えば何らかの資格を得たこと、TOEICやTOEFLの点数がアップしたこと、特定の分野の書物を読んだこと、運転免許証を取得したことなどをアセットマップに書き込むのです。努力できる人こそが、成長した人間になれる。努力しない人は、いつまで経ってもその程度の人でしかないのです。よく「自分が本気になれば、成長できる」と聞きますが、アツという間に30歳台になってしまいます。いつ「本気」になるのか。ある日突然何かができる訳ではありません。日頃の行いで物事は決まります。そのためにも知的基盤を拡大する必要があります。ご子息、ご令嬢には、多摩大生の4年の間に「本気」を出せるように教職員一同バックアップしてまいります。

「本気」を出すために、秋学期は春学期とは違い非常に重要な時期だと認識して欲しいものです。有意義な秋学期を過ごすには、まずは目標を設定し、秋学期には何を達成したいか、自分で考えることが大切です。期末試験、就職活動、TOEICなど学生には様々な目標があります。これからは、目標達成のため体調を整えつつ時間を有効的に使っていただきたいと思います。



学部長 安田 震一
(ヤスタ シンイチ)
William Shang
(ウィリアム シヤング)



今後のスケジュール

- 9月18日(木)
秋学期オリエンテーション
(1・2年生及び秋入学生)
/ TOEIC試験
- 9月19日(金)
入学式 / 卒業式
/ 健康診断 (秋入学生)
- 9月22日(月)
秋学期 授業開始
- 9月23日(火・祝)
秋分の日 (授業あり)
- 9月29日(月)～10月3日(金)
秋学期 履修登録期間
- 11月1日(土)・11月2日(日)
学園祭-SGS・FESTA
- 12月24日(水)～1月3日(土)
冬季休業期間
- 1月26日(月)～1月30日(金)
秋学期 期末試験期間
- 2月2日(月)
春季休業期間 開始
- 3月20日(金)
卒業式

発行責任者:
学部長 安田 震一

多摩大学
グローバルスタディーズ学部

〒252-0805
神奈川県藤沢市円行802番地
TEL: 0466-82-4141
<http://www.tama.ac.jp/>

後援会定期総会・懇親会を開催

グローバルスタディーズ学部第6回後援会定期総会が、6月14日(土)14時から湘南キャンパスにて開催されました。

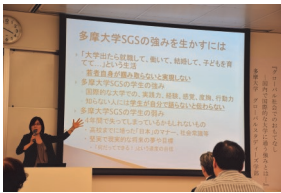
平成25年度の事業報告・決算報告・監査報告、平成26年度の理事の選出・事業計画と予算について審議され、参加の皆様(委任状含む)のご承認をいただきました。

また、平成26年度の役員を後援会役員会で選出し、会長に平成25年度に続き御影雅良氏が再選された旨の発表があり承認されました。御影会長からは副会長3名、監事2名、理事15名(常任理事含む)の紹介が行われました。

総会后、特別講演としてグローバルスタディーズ学部の堂下恵准教授による「グローバル社会でのおもてなしー国内で国際的な大学に通う強みとはー」と題して、具体例をもとに現在のようグローバル社会でのおもてなしの重要性やグローバルスタディーズ学部の具体的な強みについての講演が行われました。また、質疑応答の時間では、出席された保護者の皆様との活発な意見交換が行われました。

また、「SGSのキャンパスライフと社会人生活」をテーマに4名の卒業生：青池和臣さん(2期生：新興プランテック株式会社)、高濱未華さん(2期生：三井物産鋼材販売株式会社)、高木篤さん(3期生：株式会社デザイン)、五本木さくらさん(3期生：株式会社オンテックス)をパネリストに迎えてのパネルディスカッション(コーディネーター：堂下恵准教授)を開催し、在学時の学生会やサークル活動、インターンシップでの体験談、現在の社会人生活について、出席者にとって非常に参考になるお話をいただきました。

その後、カフェテリアで、懇親会がおこなわれ、会員の皆様、教職員が多数参加し、会員同士の親睦を深めたり、教職員との懇談で充実した時間となりました。



平成26年度後援会役員

会長	御影 雅良(4年生在籍)
副会長	松田 千久(4年生在籍)/小山 明彦(3年生在籍)/Erik Honobe(SGS学生委員長)
監事	中村 和臣(1年生在籍)/堀 裕子(3年生在籍)
理事	内藤 敦子(3年生在籍)/菅野 陽子(3年生在籍)/菊池 美香子(2年生在籍) 中村 純郎(2年生在籍)/原口 日出美(2年生在籍)/パワー 幸枝(2年生在籍) 森山 章彦(2年生在籍)/田口 郁子(1年生在籍)/中村 広(1年生在籍) 須田 純子(1年生在籍)/
常任理事	安田 震一(SGS学部長)/宮地 隆夫(SGS事務長/国際交流課課長) 瀧川 浩人(SGS学生課課長)/高野 滋彦(SGSキャリア支援課係長) 清水 克巳(SGS総務課課長)
	計21名

★ 湘南台七夕まつり 地域貢献 ★

7月6日(日)に、湘南台駅地下特設会場にて、「第8回湘南台七夕まつり」が開催されました。昨年度より、グローバルスタディーズ学部の学生が中心となり当日の運営を任されています。

今年度は、実行委員のメンバーに、1年生の八重樫弥生さんが抜擢されました。昨年の経験者である学生会会長の曾我菜さんのフォローを受けながら堂々と司会進行を行いました。



開催目標は、「湘南台の子どもたちに夢を。湘南台の魅力づくり及び駅地下の活性化」。イベントの1週間前には、地域の子どもから大人まで楽しんでいただけるよう短冊をはじめとした装飾を学生ボランティアスタッフで行いました。学内でも竹飾りを行い、学生・教職員が願いをこめた短冊を飾りました。

★ 盆踊りコンテストに参加 ★

藤沢の夏の風物詩として定着してきた「第9回藤沢宿・遊行の盆」が7月25日(金)～27日(日)に、藤沢駅周辺及び遊行寺(東海道五十三次宿場町)で開催されました。

グローバルスタディーズ学部は、26日(土)に踊りやパフォーマンスを競う「遊行ばやしコンテスト」に4年連続で参加しました。昨年までは、他大学との連合チームで参加していましたが、今年は踊り手の希望者が18名と多く、念願の「多摩大学」単独チームとして参加し、湘南の夏の夜を盛り上げました。学期末の課題・試験、TOEIC試験などがあり、練習不足は否めず残念ながら入賞を逃しましたが、来年は、SGSのオリジナル浴衣を作成して、大学のPRを兼ねて踊りたいと意気込んでいます。

また、27日(日)は、5名の学生がボランティアスタッフとして遊行寺会場の受付・誘導等を行いました。



★ 地域からの依頼殺到「たまパト」 ★

2011年に結成された学生防犯パトロール隊「たまパト」の活動は、地域にすっかり定着しており、信頼もたいへん厚いものとなってきました。従来のパトロールや活動事例報告に加え、昨年の学園祭で初めて披露した振込詐欺の寸劇は、演じる学生数も多くなり、たいへん評判を呼んでいます。学生による防犯の寸劇は珍しく、新聞・タウン紙などに取り上げられています。大学への問い合わせも多く、すぐ出演依頼が舞い込んでくる状況です。8月21日(木)は県内の大学・高等学校による寸劇コンテストが神奈川県警察本部で開催されます。(皆様のお手許にニュースレターが届く時節には結果が判明しています。)

グローバルスタディーズ学部では、「たまパト」の他、海外での家作り、環境美化、東日本大震災などのボランティアサークルの活動が盛んに行われています。その反面、ボランティア活動に全く関心のない学生もいます。ひとりでも多くの学生がボランティアの意義を理解し、地域貢献できるよう学生同士の働きかけ、教職員による指導を続けてまいります。



■ 学生防犯パトロール隊「たまパト」 イベント活動報告と予定

- ・ 5月14日(水) 湘南台公民館 寿学級開級式 寸劇披露
- ・ 6月29日(日) 厚木市役所 厚木市の大学・高等学校に対する活動事例報告
- ・ 7月16日(水) 藤沢公民館 藤沢市民対象 寸劇披露
- ・ 7月30日(水) 亀井野デイサービス(介護施設) 寸劇披露
- ・ 8月18日(月) セーフティかながわユースカレッジ研修会(本学学生プロデュース)
- ・ 8月21日(木) 神奈川県防犯パトロール寸劇コンテスト
- ・ 9月12日(金) 藤沢市社会福祉協議会 寸劇披露

キャリア支援課

4年生(2015年3月卒)の就職活動は、2013年12月からスタートし8ヶ月が過ぎようとしています。アベノミクスの影響及び次年度の就職活動時期の変更などの理由により企業側の内々定出しの時期が早まっていて、本学部も昨年よりも5ポイント高い数字で(7月末時点)内々定を獲得しています。(別表1参照)

一方内々定が出ても就職活動を続ける学生も多く、企業側はまだ積極的に採用活動を行っています。今後秋採用、中小企業の採用活動の活発化などが予想されますので、最後まで気を緩めずに自分自身が納得できる就職活動を行うことが重要です。

また、インターンシップにおいても企業側が積極的に行っていて、採用時期が大幅に後ろ倒しとなる来年の採用活動状況を見越して、多くの学生との接触を図っています。本学部でも多くの企業様にインターンシップ生を受け入れていただき、実際の就業体験を行うことで将来の職業選択の機会となっています。(別表2参照)

10月4日にはインターンシップでの実習内容及び学んだことなどを一人ひとりが発表する「インターンシップ報告会」を予定しています。また春休みのインターンシップに向けて、9月22、23、24日には「インターンシップ説明会」を予定していますので、多くの学生の参加を期待しています。

別表1 2014年7月31日現在(重複内定含む)

主な内定先		
製造業	(株)アドバンテック、ザ・バック(株)、横浜日野自動車(株)、(株)アルファ	
建設業	(株)木下工務店	
情報通信業	(株)more communication、(株)イメージ、(株)ソフテックス、オープンシステムテクノロジー(株)、(株)リパークレイン、(株)NSP、(株)大塚商会、(株)いい生活	
運輸業、郵便業	国際自動車(株)、内外日東(株)	
卸売業、小売業	日邦産業(株)、(株)ロボット、(株)誠美堂、(株)ケイ・ウノ、神奈川トヨタ自動車(株)、(株)ハミルトン、日本マクドナルド(株)、(株)コナカ、(株)チヨダ、(株)エービーシー・マート、オーチアス(株)、(株)JR東海バスセンター、東京スバル(株)、佐藤長八商事(株)、(株)オオゼキ、(株)西原商会、(株)シールズ、ネットヨト湘南(株)、(株)ショービ、シンコール(株)、(株)オンリー、(株)ファイブフォックス、(株)アーバンリサーチ、竹本容器(株)、ラオックス(株)、(株)JAL-DFS、As-meエステル(株)、(株)サマンサバサジャパンリミテッド、(株)クロスカンパニー、(株)柏圭、湘南菱油(株)、サミット(株)、(株)サニックス	
金融・保険業	明治安田生命保険(相)、ブロードマインド(株)、浜銀TT証券(株)、日本生命保険(相)、三井生命保険(株)、プレミアファイナンシャルサービス(株)	
不動産業	(株)小曾不動産、日本管理センター(株)、(株)TFDコーポレーション、三井ホーム(株)	
飲食店、宿泊業	(株)横浜グランドインターコンチネンタルホテル、(株)四季リゾート、(株)銀座ルノアル、(株)ワンダーテーブル、(株)三光マーケティングフーズ、(株)きちり	
医療、福祉	社会福祉法人富士白苑、(株)ベネッセスタイルケア	
教育、学習支援業	(株)ABC Cooking Studio、(株)GABA、(株)ティプロス	
サービス業	専門サービス	(株)ゲイト、(株)ベイカレントコンサルティング
	生活関連サービス業	(株)ヴァリック、(株)ベンチャーバンク、(株)エイチ・アイ・エス、(株)旅工房、(株)ポディーワークホールディングス、(株)エム・シーネットワークスジャパン
	電気・ガス	(株)サガミ
	その他のサービス業	(株)フェローズ、(株)キャプラン

別表2 国内インターンシップ 派遣予定先

企業名	業種
相澤土地(株)	不動産
アパマーケティング(株)	玩具・雑貨の製造・販売
いちよし証券(株)	金融(証券)
NKS能力開発センター	教育・研修
神奈川トヨタ(株)	トヨタ車販売
鎌倉パークホテル	ホテル運営
(株)コロコバード	Webサイト・フリーペーパー制作
(株)さんこうどう	印刷
湘南ステーションビル(株)	駅ビル運営・管理
(株)湘南平塚コミュニティ放送	ラジオ局(FMナバサ)
大安興業(株)江の島ボウリングセンター	ボウリング場、飲食業
(株)タウンニュース社	地域新聞(フリーペーパー)の発行
(特活)地球市民ACTかながわ	NGO(東南アジア諸国を中心とした支援)
(株)ナジック・アイ・サポート	人材派遣
日本ビューホテル(株)	ホテル運営(全国17か所)
(公財)日本ユニセフ協会	国連機関(子供の人権を守る)
(株)パソナフォスター	保育施設運営
ヒルトン東京ベイ	シティリゾートホテル運営
(公財)藤沢市観光協会	江の島の観光案内所
(特活)藤沢市市民活動推進連絡会	NPO(藤沢市のNPO支援)
(株)横浜ベイホテル東急	シティリゾートホテル運営
リゾートトラスト(株)	ホテル、ゴルフ場等運営
(特活)留学協会	NPO(留学関連事業)
(株)ジュビターテレコム	ケーブルテレビ/通信事業
(株)日新	物流
(株)横浜ステーションビル	駅ビル運営・管理

国際交流課

交換留学生 送別会 & 壮行会

7月29日SGSカフェテリアにて、ブレイメン州立経済工科大学からの交換留学生 Verenaさんの送別会、そして、この夏交換留学へ出発する6名のSGS学生の壮行会を行い、Verenaさんの地元のお知り合いや教職員の参加のもと和やかな時間を過ごしました。

夏期短期・長期一般留学プログラム 参加者

この夏は、短期留学プログラムへ23名、長期一般留学プログラムに1名が参加します。

- ・モナシュ大学（オーストラリア）4名
- ・クライストチャーチ工科大学（ニュージーランド）2名
- ・ハワイ大学（米国）1名、・UCLA（米国）5名
- ・シェフィールド大学（英国）2名
- ・バンクーバーアイランド大学（カナダ）2名
- ・台湾 コミュニティーサービス活動 7名
- ・ニューカッスル大学（オーストラリア / 長期一般）1名

秋学期イベントのお知らせ

- ・9月下旬から2週間：シンガポール ナンヤンポリテックからのStudy Tour受入れ
- ・9月29日（月）16:20-：Study Tour & 9月入学生の歓迎会
- ・9月30日（火）& 10月3日（金）ランチタイム：春出発短期留学説明会

Verenaさんが日本滞在中に描いた30枚の絵も展示しました。



左から、ブレイメン州立経済工科大学、マカオ大学、国立暨南国際大学、アルゴマ大学、バルドスタ州立大学への交換留学へ出発する学生達

グローバルスタディーズ学部主催、寺島学長基調講演による「グローバル化する観光産業の人材育成と活用Ⅱ」シンポジウム開催報告

2月に開催し、多くの方にご参加いただいた「グローバル化する観光産業の人材育成と活用Ⅱ」シンポジウムの第2弾である「グローバル化する観光産業の人材育成と活用Ⅱ」が2014年6月6日（金）午後6時から湘南クリスタルホテルにて開催されました。

当日は、湘南地区の高校の先生や企業の方を中心に約120名の方にご参加いただきました。まず、グローバルスタディーズ学部の市岡浩子教授による「観光学を学ぶ楽しさと観光産業の可能性」という観光学や観光産業、そしてグローバルスタディーズ学部での具体的な教育に関する講演を約30分行いました。その後、午後6時半から、寺島学長による「世界認識と観光立国への戦略～Integrated Resort（カジノを含めた統合型リゾート）の視座～」でという1時間15分の基調講演を行い、ご参加の皆様には、今後日本社会の観光を含めたホスピタリティ産業が必要としている人材の育成、及び今後の観光の在り方について、熱心にお考えいただき、シンポジウムは終了しました。

講演終了後、懇親会を開催し、約100名の方にご参加いただき、寺島学長を始めとする本学教職員と参加者、参加者同志での懇談・名刺交換で盛大な懇親会となりました。今後も開催を期待するという声が多く聞かれ、第3回のシンポジウムを10月に開催する予定です。



エリック ホノベ先生 Erik Honobe

私はカナダ人です。カナダの大学で日本語を学び、卒業を機に1年間、英語教師として日本で教鞭を執りました。その後、進学のため帰国、博士号を取得後、大学教員として仕事に就きたかったのですが、あいにくカナダにも日本にもその機会はありませんでした。しかし、就職環境が厳しいとはいっても世界中に全く機会がないわけではありません。結果、メキシコで2年間、中国（マカオ）で4年間、大学で教えることとなりました。

世界一の誘拐都市として知られているメキシコシティでの生活は、常に危険と隣合わせの日々でした。また、中国では当時、新型肺炎が流行し、そんな危機的な時期にメキシコから中国への移住を決断しなければならなかったことは容易なことではありませんでした。しかしながら、今になって、振り返りますと非常に貴重な経験だったと思われま。まさしく、諺に言う「虎穴に入らずんば虎子を得ず」です。

SGSでの教員生活も、早いもので今年で8年目です。担当科目は主に英文会計学ですが、学生には常に、海外での経験の価値を伝えようと取り組んでおります。

I am from Canada. I studied Japanese when I was a university student and after graduating, I worked in Japan for one year as an English teacher. I then returned to Canada to continue my studies. After obtaining a doctoral degree, I hoped to work as a university professor but found no such opportunities either in Canada or in Japan. However, a tough job market does not mean that opportunities cannot be found anywhere in the world. I eventually taught at universities in Mexico for two years and in China (Macao) for four years.

Mexico City is known as the city with the most kidnappings in the world, and living there often made me feel unsafe. Also, at the time, the outbreak of the SARS pneumonia had begun in China, and moving from Mexico to China amidst such a crisis was not an easy decision to make either. However, in retrospect, I feel these were extremely valuable experiences. As the saying goes, "nothing ventured, nothing gained".

I am now beginning my eighth year at SGS. I mainly teach Accounting in English and I always try to impart the value of experiences abroad to my students.

